

令和 6 年第 4 回（1 2 月）富里市議会定例会一般質問について（答弁要旨）

■ 公共交通について

(1) 次世代型路面電車システム「L R T（ライト・レール・トランジット）」の導入について

L R Tは、富山県富山市や栃木県宇都宮市などで運行されており、道路上に専用の軌道を設け、次世代型の低床車両による運行を行うため、乗降の容易性、定時性、快適性などの面で優れた特徴を有している軌道系交通システムで、人と環境に優しい公共交通であると評価されている。

- 導入については、車両をはじめ軌道や停留場などの整備に多額の費用を要するほか、通勤通学等の朝夕の時間帯以外では大きな混雑が見られない本市の公共交通の状況から、L R Tの輸送能力を十分に生かし切れないことなども考えられる。

(2) DMV、デュアル・モード・ビークルについて

国内では、徳島県海南町(かいなんちょう)から高知県室戸市の区間で運行されており、既存の軌道インフラを活用していることが大きな特徴で、軌道と道路の両方を走行できる公共交通である。

本市においては、軌道をはじめとしたインフラ整備や車両の整備に多額の費用を要するなどの課題も想定される。

- 今後も、L R TやDMVと同様に幹線交通としての機能を有する路線バスの充実が図られるよう、公共交通事業者と連携を深めるとともに、市民ニーズを把握し、市民の生活に密着した持続可能な地域公共交通として、デマンド交通が定着できるよう努めていく。

(3) 近隣市駅へのアクセス向上の取組は。

近隣市駅へのアクセス向上の取組については、近隣市駅への移動手段として、路線バス、タクシー、デマンド交通の充実を図っている。

路線バスについては、京成成田駅に 5 路線、J R 成田駅に 1 路線、J R 八街駅に 1 路線が乗り入れており、周辺市駅への接続及び市内の骨格となる公共交通手段であることから、事業者に対して拡充や増便による要望を行っている。

本市でも、令和6年度から公共交通確保維持支援金制度により、公共交通事業者による運転手確保が図れるよう努めている。

また、本市が運行主体となるデマンド交通は、京成成田駅、京成酒々井駅、J R酒々井駅、J R八街駅に乗降ポイントを設置し、市内から近隣市駅へのアクセスの充実を図り、路線バス等の公共交通を補完している。

○今後も、公共交通事業者と緊密な連携を図るとともに、近隣市駅へのアクセスと利便性の向上に努め、地域公共交通の充実に取り組んでいく。